

令和4年度
学校要覧



山梨市立日川小学校

〒405-0024 山梨県山梨市歌田 140番地1

T e l 0553-22-0742
F a x 0553-22-9925
E - mail hikawa@es-jhs.kai.ed.jp

令和4年度 学校要覧

目次

1	本校の概要	1
2	教室配置	3
3	学年別・地区別児童数	3
4	学校経営の概要	4
5	令和4年度グランドデザイン	5
6	年間行事の概要	6
7	日課時刻表	6
8	校内研修計画	7
9	令和4年度教職員組織	8

1 本校の概要

- I 学 校 名 山梨市立日川小学校
- II 所 在 地 山梨県山梨市歌田140番地1
東経138度41分31秒 北緯 35度39分43秒 標高 313m
電話 0553-22-0742 FAX 0553-22-9925
Email hikawa@es-jhs.kai.ed.jp
- III 校舎校地 1) 運動場 10,552㎡
2) 校舎 2,729㎡ 3) 屋内体育館 921㎡
- IV 沿革の大要
- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 明治 7年 5月 | 学制発布に伴い、上栗原海島寺を仮校舎とし、歌田学校が創立 |
| 明治 8年 4月 | 南歌田76番地に日川小学校を設立、4月26日を学校創立記念日とする。 |
| 明治20年 3月 | 日川尋常小学校を呼称する。(4年制) |
| 明治25年 7月 | 高等科(4年制)を併設、日川尋常高等小学校と改称 |
| 明治40年 8月 | 大水害に遭い、校舎校地流失、仮校舎で授業(8月24日) |
| 明治42年 1月 | 下栗原617番地に1府9県・甲府共進会の建物払下げを受け校舎を建築移動 |
| 昭和 2年10月 | 歌田140番地1の現在の位置に新校舎を竣工移転 |
| 昭和16年 4月 | 国民学校令施行、日川国民学校と改称 |
| 昭和27年 1月 | 日川小学校旗樹立 |
| 昭和28年 7月 | 日川小学校校歌制定 |
| 昭和29年 7月 | 町村合併に伴い、山梨市立日川小学校と改称 |
| 昭和33年 3月 | 給食室竣工、完全給食実施 |
| 昭和34・35年度 | 統計教育研究指定校 |
| 昭和45～47年度 | 学校保健統計指定校 |
| 昭和45年 4月 | 中学校の実質統合により屋体(昭和42年3月竣工)を小学校に移管 |
| 昭和48年 1月 | 校庭にムーンクライミング・回転スケーター・低鉄棒設置 |
| 昭和49年 4月 | 創立百周年記念式典挙行 |
| 昭和53年 6月 | 新校舎落成式典及び祝賀会(16日) |
| 昭和54～56年 | 文部省体力づくり推進校 |
| 昭和55年 9月 | プール落成式 |
| 11月 | 学校体育地域推進校として公開研究会(13日) |
| 昭和56年 2月 | 県学校体育研究会より学校表彰を受賞 |
| 昭和56年11月 | 文部省指定「体力づくり」公開研究発表会 |
| 昭和57年 4月 | 「体力づくり」文部省体育局長表彰を受賞 |
| 10月 | 「体力づくり」全国表彰を受賞 |
| 昭和57年～ | 「体力づくり」研究・自主公開(～平成元年) |
| 昭和58年 2月 | 「体力づくり」全国表彰受賞記念碑PTA建立 |
| 9月 | 散水施設完成 |
| 11月 | 「体力づくり」山人会・団体賞受賞 |
| 昭和59年 1月 | 大川倉横結操法・市消防出初式にて日川小消防隊披露 |
| 昭和61年10月 | 「日川少年男子バレーボール開会式」にて、ボール集団演技披露 |
| 平成 3年～4年 | 「心を耕す読書活動」県指定研究校 |
| 平成 4年 3月 | 「ふれあいの池」設置 |
| 平成 7年 4月 | 県指定「ビバ・小学生国際理解活動推進校」 |

	10月	飼育小屋移築増築
平成9年	4月	県指定平成9年読書活動推進モデル校
平成10年	4月	校庭クスノキが市の天然記念物に指定
平成11年	5月	「川倉」3団体より表彰（県・県民会議・日本善行会）
平成12年	1月	給食調理棟改築 竣工式（11日）
	7月	パソコン22台設置 保健室エアコン設置
平成13年	4月	「平成13・14・15年度ボランティア活動普及協力校」指定
	6月	プールに温水シャワー及び電話機を設置
平成14年	4月	「地域ふれあい道徳推進事業」推進校
平成16年	2月	屋内体育館竣工式
	6月	日本水大賞「国土交通大臣賞」受賞
平成17年	5月	平成17・18年度文部科学省委託「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」実施地域（学校）に指定
	5月	大川倉横結操法を第54回利根川水系連合水防連合水防演習のオープニングで披露
平成19年	1月	山梨県学校保健会表彰 手塚賞受賞
平成20年	2月	山梨県口腔衛生優良学校 山梨県歯科医師会会長表彰
	3月	北倉庫・敷地東側フェンス・南門前横断歩道設置
平成21年	5月	日本水大賞「国土交通大臣賞」受賞記念碑建立
	7月～8月	耐震・大規模改修工事
平成22年	3月	地上デジタル対応テレビ・電子黒板の設置・パソコン入れ替え
	2月～3月	太陽光発電パネル設置工事
平成22年	12月	プール改修工事開始（～平成23年1月）
平成23年～24年		山梨県教育委員会「学力向上パイロットスクール事業」指定校
平成26年	12月	山梨市英語教育推進委員会授業公開実施（2年生）
平成27年	9月	グラウンドスピーカーシステム設置
	10月	一輪車13台新規購入
平成28年	6～9月	校舎エアコン設置工事
	2月	山梨県学校保健会表彰 準健康推進優良学校受賞
平成30年	3月	文部科学省より学校保健統計調査実施校に指定
平成30年	4月	山梨市教育委員会より子どもの体力向上推進事業「地域で取り組む学校元気アップ事業推進校」に指定
令和元年	5月	日本赤十字社青少年赤十字加盟
令和2年	4月	山梨県教育委員会よりNIE推進事業「NIE推進事業指定校」に指定
令和3年	3月	GIGAスクール構想による環境整備（Wi-Fi環境及び153台の端末機導入）
令和4年	1～3月	外トイレ改修工事
令和4年	2月	クスノキ剪定作業

【地域の歴史】

昭和29年7月1日、町村合併促進法によって、日下部、加納岩の2町と八幡、岩手、山梨、日川（ひかわ）、後屋敷の5村が合併して山梨市が誕生し、平成17年3月22日には山梨市、牧丘町、三富村が合併して（新）山梨市が誕生した。

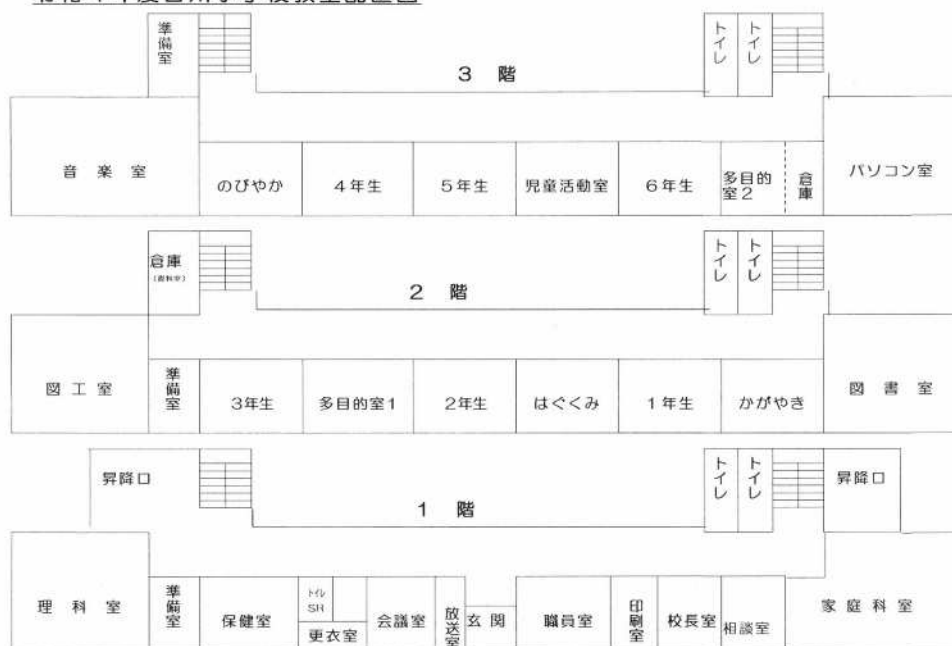
日川地区は、山梨市の最南部に位置し、南を流れる日川（ひかわ）と北を流れる重川とに挟まれた平坦な地である。東から、中村・上栗原、下栗原、歌田、一町田中の5地区から成り、果樹栽培に適した土壌で葡萄及び桃の一大生産地として県内外にその名が知れ渡っている。

古くは、徳川時代、田安陣屋も田中におかれ、南部を甲州街道（現在の国道411号線）が走り、政治、文化の重要地点であった。後年、旧制日川中学校（現在の県立日川高等学校）が存置され、峡東地区の教育文化の中心をなしてきた。

明治40年、大水害に見舞われ、当時の地区民は大打撃を受けたが不撓不屈の精神とたゆまざる努力によって漸次復興し、時代を先取りし、いちはやく果樹栽培の農業形態に切り替え、今日の繁栄を築き上げてきた。

2 教室配置

令和4年度日川小学校教室配置図



3 学年別・地区別児童数

令和4年度 児童数・家庭数一覧表 (5月2日現在)				
学年	男子	女子	合計	家庭数
1年	11	18	29	17
2年	12	5	17	12
3年	11	11	22	17
4年	13	14	27	24
5年	17	6	23	23
6年	12	10	22	22
はぐくみ1年	(1)		(1)	
はぐくみ3年	(1)		(1)	
はぐくみ4年	(1)	(1)	(2)	
かがやき2年	(1)		(1)	
かがやき6年	(1)		(1)	
のびやか5年	(1)		(1)	
合計	76 (6)	64 (1)	140 (7)	115

令和4年度 地区別児童数一覧表 (5月2日現在)						
学年	一町田中	歌田	下栗原	上栗原	中村	合計
1年	2	19	6	2	0	29
2年	5	10	3	2	0	17
3年	5	12	2	3	1	22
4年	8	7	8	2	1	27
5年	7	11	2	0	1	23
6年	4	13	3	3	2	22
合計	31	66	29	10	8	140

4 学校経営の概要

I 学校教育目標

「心身ともに健康でたくましく、自他を思いやり、自ら学び、考え行動する児童の育成」

- 〔目指す児童像〕
- 1 健康安全に努め、生命を大切にする子ども
 - 2 自ら深く考え、進んで学習する子ども
 - 3 思いやりの心を持ち、励まし合い、協力する子ども
 - 4 よく働き、最後までやり抜く子ども

II 学校経営の努力点と具体策

『バランスのとれた知・徳・体の育成』 基盤は『学級経営の充実』

- ①教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級づくりに取り組む
- ②児童に所属感、自己有用感を持たせる取り組みを工夫し、一人一人のよさや可能性を生かすように努める

1 「確かな学力」の育成

「主体的・対話的で深い学び」の授業改善及び評価に取り組み、資質・能力の育成に努める

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業の質的向上に努める
- ②新聞を活用し読解力・記述力を高める
- ③ICTを効果的に活用した授業を計画的に実施し、情報活用能力の育成に努める

2 豊かな心の育成

魅力的な集団づくり、環境づくりや組織的支援体制づくりに努める

- ①多様な価値観等を尊重できる人権感覚を涵養する
- ②教委育活動全体で道徳教育を推進する
- ③いじめ・不登校が生じにくい魅力ある教育活動を推進する

3 健やかな体の育成

体力の向上と健康教育・安全教育の充実に努める

- ①運動に親しませ、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図る
- ②食や健康に関する実践的指導を行う
- ③安全教育を推進し、自分の身は自分で守る能力を育む

4 地域や世界で活躍できる人材の育成

郷土への理解やグローバルな視点を重視し、将来の自立に必要な能力や態度の育成に努める

- ①地域連携等により、川倉を始めとする伝統文化の継承を通して、ふるさとへの関心を高める
- ②外国語教育を推進し、5領域の言語活動の着実な実施と計画的な評価によるコミュニケーション能力を育成する
- ③学びをつなぐ系統的な取組により、キャリア発達を促す

5 特別支援教育の推進

- ①特別支援教育に関する専門性の向上に努め、多様な学びの場における教育の充実に努める
- ②特性に配慮した授業づくりと、多様性を認め合える集団づくりを推進する
- ③特性の理解の推進と、必要な支援の充実に努めるための研修会や校内委員会を実施する
- ④支援計画の作成と支援内容の検討及び評価の充実に努める

6 家庭や地域から信頼される学校づくり

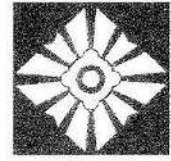
- ①川倉活動をはじめ、地域に根ざした学習を継承・発展し、郷土愛を育てる
- ②地域の一員として、地域行事に進んで参加できるようにする
- ③地域の自然・歴史・文化を生かした教育を推進する
- ④地区別懇談会、青少年育成会議などの地域諸団体と連携し、地域とともにある、信頼される学校づくりに努める

7 互いに教え合い、学び合う教職員集団をつくる

- ①職員が自己の責務を自覚し、積極的に学級経営、学校運営に関わるようにする
- ②報告・連絡・相談・確認を互いに励行し、職員間での意思の疎通を図る
- ③相手の立場や自分の役割をよく理解し、協働的に取り組む
- ④授業や生徒指導を中心に、他の職員の実践から謙虚に学ぶことができるようにする

5 日川小学校 グランドデザイン

令和4年度 山梨市立日川小学校 グランドデザイン



6 年間行事の概要

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
主 な 行 事	新任式, 始業式, 入学式 1年生を迎える会 交通安全教室(1・2年) 自転車教室(3・4年) 家庭訪問 防犯教室 授業参観 修学旅行(6年) 避難訓練 児童会総会(3～6年) 春の遠足(1～4年) 陸上記録会(6年) 全国学力テスト(6年) プール開き 土曜参観・引き渡し訓練 自然教室(5年) 個人懇談 山梨市水泳記録会(6年) 各校で 終業式	始業式 避難訓練 大運動会 県外旅行(5年) 観劇教室 授業参観 東山梨小中学校音楽発表会(4年) マラソン大会 スケート教室(3・4年) 日川小祭り 終業式	始業式 書きぞめ大会 児童会役員選挙 スキー教室(5・6年) 避難訓練 なわとび検定 授業参観 児童会総会(3～6年) 6年生ありがとう集会 卒業式 修了式
	〈年間を通して〉 業間運動 全校集会 音楽集会 児童集会 さわやかタイム(朝学習・朝読書) 愛校作業 リサイクル活動 縦割り班活動 委員会活動 クラブ活動 安全点検 歯みがきタイム(昼休み) 発育測定 登校班の反省		

7 日課時刻表

	平常日課	短縮(にっかわなし)	半日
児 童 登 校	8:15	8:15	8:15
学 習 準 備	8:15～8:20	8:15～8:20	8:15～8:20
さわやかタイム	8:20～8:35	8:20～8:35	8:20～8:35
児 童 朝 の 会	8:35～8:45	8:35～8:45	8:35～8:45
1 校 時	8:45～9:30	8:45～9:30	8:45～9:30
2 校 時	9:35～10:20	9:35～10:20	9:35～10:20
にっかわタイム	10:25～10:35		
中 休 み	10:35～10:50	10:20～10:35	10:20～10:35
3 校 時	10:50～11:35	10:35～11:20	10:35～11:20
4 校 時	11:40～12:25	11:25～12:10	11:25～12:10
給 食	12:25～1:05	12:10～12:50	12:10～12:50
昼 休 み	1:05～1:30	12:50～1:15	
そ う じ	1:30～1:50	1:15～1:35	(12:50～1:10)
5 校 時	1:55～2:40	1:40～2:25	
6 校 時	2:45～3:30	2:30～3:15	
帰 り の 会	3:30～3:40	3:15～3:25	12:50～1:05 (1:10～1:25)
児 童 下 校	4:30 (夏日課:2月～10月) 4:00 (冬日課:11月～1月)		1:10 (1:30)
職員打ち合わせ	4:30		

	委員会・クラブのある曜日
帰りの会	2:40～2:55
委員会・クラブ	3:00～3:45 (夏日課のクラブは4:00まで)

8 校内研修計画

1 研究主題

自ら学び，豊かに表現し，深い学びに向かう児童の育成
～ICTを活用した授業づくりを通して～

2 研究の目標

ICTを活用した授業づくりを通して，自ら学び，豊かに表現し，深い学びに向かう児童生徒を育てる。

3 今年度の研究の具体的内容と方法

(1) ICTを活用した授業づくり

①授業研究…全体で1本の提案授業を行い，指導主事を招聘し，研究を進める。

②一人一実践

(2) 読解力向上に向けた環境づくり・基盤づくり

①家庭学習の充実

- ・メディアコントロールチェックカードの取り組みを行い，基本的な生活習慣の徹底を図る
- ・自主学习ノートの取り組みを行い，家庭学習の習慣化を図る

②朝学習に新聞を取り入れる

- ・新聞を読む
- ・新聞ワークシート など

③学級力向上の取り組み・・・低学年は，できる範囲で取り組み，レーダーチャート，スマイルアクション，アンケートを行事などに合わせて実施する。

(3) 今日の教育課題関連の学習会

①特別支援教育の学習会

②ICTの活用についての研修会

4 年間研修計画

月	日	回	形態	研究内容	備考
4	8	1	推進	今年度の研究について	
	13	2	全	今年度の研究について	
	18	3	全 部会	学級力アンケートについて ブロック研究①	
5	25	4	部会	ブロック研究②	
6	8	5	部会	ブロック研究③	
	29	6	部会	ブロック研究④	
7	25	7	全	特別支援についての学習会	講師要請
8	17	8	全	教育課程還流報告 ICTの活用についての研修会	ICT支援員 要請
9	7	9	部会	ブロック研究⑤	
	14	10	部会	ブロック研究⑥	
10	5	11	全	授業構想検討会①	
	12	12	全	授業構想検討会②	
11	9	13	全	全体研究授業	TC要請
1	18	14	部会	ブロックごとのまとめ	
2	1	15	全	今年度のまとめおよび来年度への方向づけ	
	8	16	全	研究紀要の作成	
3	1	17	全	次年度に向けての構想	

9 教職員組織

	職名	氏名	在職	担当学年等	校務分掌
1	校長	三枝 一哉	1		学校経営
2	教頭	山宮 将仁	2		学校運営 防災・安全教育
3	教諭	宮澤みさ子	1	教務主任	算数主任 家庭科主任 学校評価
4	教諭	行田 玲子	2	1年	音楽科 生活科 食教育 幼保小連携
5	教諭	鶴田 望	3	2年	学力向上委員 研究主任 図書館教育
6	教諭	吉澤 成南	2	3年	国語科 総合 キャリア教育
7	教諭	今澤 比呂樹	6	4年	生徒指導主任 登校班指導 情報担当
8	教諭	志村 勇佑	1	5年	体育科 社会科主任 視聴覚
9	教諭	望月 泰祐	3	6年	児童会 小中連携 理科主任 人権教育
10	教諭	三枝 剛	1	特別支援学級 はぐくみ	特別支援教育コーディネーター 福祉教育
11	教諭	高野 恵美子	3	特別支援学級 かがやき	英語科 英語教育推進委員 道徳（道徳推進教師）
12	教諭（再任用）	駒田 覚	1	1年アクティブ	0.5
13	教諭（期採）	岩森 智香子	5	特別支援学級 のびやか	図工科 環境教育 清掃担当
14	養護教諭	窪田 敬子	4		保健主事 SC担当 学校保健会
15	事務職員	古屋 聡	2		学校事務
16	学校栄養士	小林 由紀子	3	兼務	水：巡回指導
17	特別支援員	七澤 佳彦	1		児童支援（月～金）5h
18	特別支援員	辻 磨衣子	1		児童支援（月～金）6h
19	図書館司書	角田 治美	11		火・木・金 7h
20	A L T	ダリル	3	兼務	火6h・木7h
21	J T E	浅野 真由美	3	兼務	火・木
22	英語指導	廣瀬 芳樹	3	兼務	火・木PM
23	非常勤講師	杉本 梢	1	学力向上支援スタッフ	金AM
24	非常勤講師	雨宮 莉帆	1	学力向上支援スタッフ	月～木AM
25	スクール カウンセラー	國政 友子	1	兼務	木曜 午後 年間10回
26	用務員	永田 正幸	2		学校用務全般 7h
27	配膳員 スクールサポートスタッフ	三枝理恵子	2		配膳補助 2h 環境整備 2h

校歌

作詞：向井房江／作曲：坂口五郎

1. めぐる山なみ 若やかに
春の光に もえいずる
野に少年の 輝きて
つどう日川の 学びの舎
2. 伸びゆく麦生の あげひばり
みのりの秋も 月雪も
流れてつきぬ 日川の
ひびきいそしむ わが友よ
3. こころ楽しく ふくよかに
文化のなみに いぶきして
わが世代を 新生の
のぞみあふるる わが母校

